



ガザニア
(アプローチ)

つながい

自ら動き、感じ、楽しむ ～笑顔あふれる幼稚園～
～やさしく かしく たくましく～

第 3 号

令和4年5月25日発行
山口大学教育学部附属幼稚園

副園長 大森 洋子

うれしい言葉・プラスの言葉

ある日の保育後のミーティングで、風組の先生がこんな話をしました。 —「お誕生会でAちゃんの食べていたお菓子が食べ終わらいうちに落ちてしまった。ほぼ食べ終わてはいたけれど、予備があったので『先生はAちゃんのことを大好きだからもう一つあげるね』と言って渡した。すると、子どもたちが「私も先生が好き」「僕も好き」と言い出して、「好き」と言う言葉があちこちに飛び交った。お菓子が欲しいから好きと言ったような雰囲気ではなく、『好き』という言葉 みんながうれしそうに使っていたように感じた」 —

先生が予備のお菓子を渡すのは当然のことで、好きだからではありませんが、単に代わりの物を渡すのではなく、その行為に「好き」という言葉をプラスするだけで、もらった子どもも周りの子どもたちもうれしくなったのではないかと思います。そして、「落としても代わりがもらえるから心配しなくて大丈夫」ということを、「先生は私たちのことが大好きで大事に考えてくれているから」という根拠のもとに認識できたのではないのでしょうか？ 大人の温かい言葉は、子どもたちを安心させ、心地よくさせてくれるのだと感じました。

そんなことがあったからでしょうか。別の日に風組に行くと、B君が来て「先生、好き」と言ってくれました。「まあ、それはありがとう。うれしい。先生も大好きだよ。」と私が言うと、隣のC君も「僕も先生のこと好きだよ。」と言い、またまた、「好き好き」攻撃が始まりました。「好き」と言えばいいということではありませんが、そう言われて嫌な気持ちになる人はいませんし、「好き」と言っている子ども自身もうれしうだと感じます。眉間にしわを寄せて「好き」と言うことは難しいです。「好き」という言葉を発することで、幸せな気持ちになるのです。「好き」は、言っても言われてもうれしい素敵な言葉ですね。

言っても言われてもうれしくなる言葉はたくさんあります。「ありがとう」「素敵ね」「楽しいね」「優しいね」「すごいね」「きれいだね」・・・子どもたちとの会話では、そんな「快」の気持ちを想起してくれる「心地よい言葉」をたくさん使いたいと思っています。「ほめて育てる」とはよく言われていることですが、「ほめる」の中身は、「上手」とか「うまい」とかの評価的な言葉ではなく、きっとこのような「うれしくなる言葉」「プラスの言葉」なのだと思います。自分（大人）が「うれしい」「楽しい」という気持ちを自分のメッセージとして言葉で伝えていくことで、子どもたちもその言葉の心地よさを知り、あたたかい気持ちになって、使えるようになっていくのでしょうか。「好き」と言うのが本当に「好き」になるし、「楽しい」というのが本当に「楽しくなります」。少しだけ意識して使ってみてはどうでしょうか？

散歩 (5/19) : 風組と星組は、世界の森公園（教育会館前）へ散歩に行きました。花組さんが見送ってくれました。風組は初めての散歩でしたが、前後を星組さんに挟んでもらい、車に気をつけて並んで歩きました。散歩が「親子遠足」だと思っていた風組さんがたくさんいましたが、そう思えるできごとがあつてよかったなあとも思いました。公園では、自然に触れ、友達に触れ、たくさん遊んで、心地よい園外でのひとときを満喫できました。





花組：滑り台が入りました。花組サイズの滑り台で大喜びです。1学期の間は、保育室周辺で遊んで、花組の環境や友達にしっかり触れてほしいと願っています。連結三輪車のバスは、池の周りを周回していて、ベンチやネットが停留所です。子どもたちはほとんど漕がないので前から引っ張る先生たちは大変です。見かねて(?)星組さんが引っ張ってくれました。

急に暑くなり、誘われるように水へ……。洗車ができるように環境を用意すると、せっせと汽車を洗っていました。着替えることが多くなりますが、よく遊んだ証拠です!!



中でも外でもないテラスは、広い空間で心地よく、仕切ったり積み木を積んだり並べたりして自分たちの空間を作って楽しんでいます。ちょっと物を運ぶと何かできるということが嬉しいようです。

モンシロチョウを呼ぶために植えたキャベツはお陰様で虫食いだらけ。チョウがたくさんいて、毎日網をもって追いかけています。



星組：大庭で思い切り走ってしっぽ取り。汗びっしょりになって楽しんでいます。風組も仲間に入れてくれています。だるまさんが転んだ、太鼓の達人ごっこ、ポケモンごっこ、探検ごっこなどを友達と楽しんでいます。5/24には、全員でクローバーの折り紙に挑戦しました。うさぎのお世話もよくやってくれています。

ふたばクラブ：3年ぶりに未就園児親子の会を開催しました。花組さんより小さい子どもたちなので、「ふたば」と呼んでいます。遊戯室を遊びのコーナーにして、いろいろな遊具で遊んだり、身体を動かしたり、親子触れ合い遊びをしたり、製作をしたりしました。とてもかわいい子どもたちの訪問に、興味津々の園児もいました。今年は毎回受付をしています。次回は6月22、23日で、6月9日より受付しますので、お知り合いに該当年齢の方がおられましたら、是非お誘いください。



幼稚園まつりについて：掲示板や保育予定でもお知らせしているとおり、7月14日(木)に開催する方向で進めています。多くの方が参加しての土曜日開催は断念しましたが、こちらも3年ぶりにPTAと園との共催行事として実現しそうです。「子どもたちの思い出に残るものを」「子どもたちのために」という気持ちは皆同じです。無理せず、できる形でご協力いただければと思います。詳細は後日お知らせしますが、当日は、親子でコーナーを回るようにしたいと思っています。また、星組保護者の方には、前半・後半のどちらかで各コーナーの運営を担当していただくことを考えています。ご協力よろしくお願いいたします。幼稚園祭り実行委員会を開催しながら、回数も準備内容も縮小する方向で進めています。